

みんなの 広場

皆さんからのお便りをお待ちしています

〒444-0192 菱池字元林1-1 幸田町役場 広報こうた係
E-mail:kikakujo@town.kota.lg.jp ☎62-1111 (内線344)
FAX63-5139



今月の表紙は、6月12日(金)に行われた中央小学校1年生の今年初めてのプールの授業の写真です。最初は冷たそうに入っていました。最初は普通の元気な姿を見せてくれました。手はヒースサインではなく、カニのはさみで、横歩きしています。

今月の表紙

幸田の民話

「流れ石とまんどころ」

萩

朝日さす 夕日輝く 山の根に
黄金七箱 朱七通り

不動ヶ池の北側の山の中に、あたりいちめん小石がいっぱいのところがあります。ちょっと見ると、水の流れたところのようにも見えますが、川ではないようです。そこだけが、まるで小石の川が流れたようになっています。そのすみに、すりばちのようなくぼみがあります。土を入れ、うめておいても、明るく日に行ってみると、また、前のようになっています。本当にふしぎなところ。ここを、村の人たちは、「流れ石」と呼んでいます。

「むかし、戦さに敗れた侍大将が、いつの日か、お家再興に備えて、黄金をうめておいたそう。」「いやちがう。あそこは大じゃのすみかなんだ。その証拠に、なんと土をうめておいても、なくなってしまふ。それは、大じゃが息苦しいから、吹きとばすんだ。」

そこで、ある時ある人が、うめ

られている黄金を掘りだそうとしました。ところが途中で気持ちが悪くなり、寝込んでしまったということです。それからは、「あそこを掘ると、病気になる。掘ってはいけない。」ということになり、もう誰も掘ろうとしなくなってしまったということです。

この、流れ石のすぐ近くに、「まんどころ」と呼んでいるところがあります。ここも流れ石と同じように、小石ばかりで、木の生えていないところ。ここにも、流れ石と同じような話が伝えられています。

朝日さす 夕日ささざる このお
かに 小判七箱 朱七通り

けれども、ここは、朝日はよく当たるが、夕日は当たらないところ。黄金のかくし場所を教える、もう一つの歌とは反対のところ。

黄金は、本当にうまっているの

でしょうか。 (「こうたの民話」の要約)



【華道】

つるた 鶴田 てるみ 光美 さん

みんなの作品展!

今月の作品は、春の文化発表会からのセレクトです。



【盆栽】

あんどう 安藤 かずお 一夫 さん

皆さんの作品を募集します。応募方法は、はがき裏書きもしくは作品を写真に撮りタイトルと作者名(ペンネーム可)をご記入のうえ、広報こうた係までお送りください(デジカメ写真の場合はメールで!)

今月の記念日

7月7日は
「七夕・そうめんの日」

奈良時代に中国から伝来し、そうめんの源流と考えられている「索餅」。小麦粉と米の粉を練り、縄のようにねじった形をしていた。索餅は、平安時代、宮中での七夕の行事の供物とされてきました。乾めんメーカーの中央組織「全国乾麺協同組合連合会」(全乾麺)では、そうした歴史的背景にちなみ、7月7日の七夕を「七夕・そうめんの日」と定めました。

乾めんは、小麦粉、そば粉などを主原料にした自然食品で、製麺方法上の違いにより、「乾めん類(機械製乾めん)」と「干しめん」に分けられます。乾めん類にはうどん、そば、きしめん、ひやむぎ、そうめんがあり、干しめんには、手延べうどん、手延べきしめん、手延べひやむぎ、手延べそうめんがあります。

乾めんは長期常温で保存することができ、経済性、便利性に優れた「エコ食品」です。また、調理のしやすさやヘルシーさが受け継がれています。夏の暑い日はシンプルな具と組み合わせるあっさりとした、寒い冬は辛めの味をアクセントに鍋にして……和洋中どのメニューにも合う乾めんは、四季折々の食卓を彩ってくれます。



青春トークリレー

△△第196走者△△

いな まゆか
伊奈 茉裕香 さん

大草区在住 25歳 インストラクター
身長 150cm A型

好きなタイプ 心のきれいな人

好きな芸能人 大泉 洋

私は今、子どもの頃大好きだった
体操教室で先生として働いています。

人見知りでおとなしく、怖がりだっ
た私を強く、明るくしてくれたのが
体操でした。

「大丈夫・・・失敗しても先生が助け
てくれる。」

人を信じることで出せる勇氣！

「自分ならできる！」

自分を信じることで出せる勇氣！

勇氣の出し方を知った私は、痛く
ても悔しくても、挑戦する楽しさ、
諦めない強さを手に入れることがで
きました。

先生となった今、「心で感じること
のできる体操」を大好きな子どもた
ちに伝えていけたらと思います。

最後に2月号の第191走小林君と
同じく、私も幸田町が大好きです♡



はろーキッズ

掲載写真を印刷してプレゼント。
希望者は企画政策課まで。



わしだ保育園の子どもた
ちは、どの子も毎日元気
いっぱい遊んでいます。
たくさん遊んでお腹かがペ
コペコになったみんなの楽
しみは食べることに給食と
おやつです。時々給食とお
やつ作りの一部を子どもた
ちが参加して作るクッキン
グをします。これは子ども
たちがとても楽しみにして
いる活動の一つです。
下の写真は5月に行った
クッキングの様子です。み
んなで散歩に出かけて摘ん
だよもぎの葉を使い、年長
児がよもぎ団子作りをしま

わくわくクッキング

「某月某日
わしだ保育園」
わんぱくだより



した。自分たちが取って来
た材料で、手作りした団子
の味は格別だったようで
す。「すごくおいしいよー」
と大人気でした。

今、保育園の畑で子ども
たちがプチトマト、キュウ
リ、ナス、オクラ、ピーマン、



サツマイモなどを植え、育
てています。近々収穫した
野菜を使い、夏野菜カレー
のクッキングをします。ま
た、秋には焼き芋や、親子
で芋煮汁を作る芋煮会を計
画しています。
クッキングで作る、食べ
ることを中心にワクワク楽
しい事が広がっています。

▼7月は私の誕生日がある月な
ので好きですが、暑さにはめっぽ
う弱いです。子どもの頃は毎日とい
うほど川で遊んだ記憶がありま
す。セミやかぶと虫もよく捕りに
行きました。ここ数年は子どもと
一緒に、いろいろな虫を捕って
ますが楽しんでるのは自分のほ
うかもしれません。
さて、子どもからいろいろなこ
とを学んでいる今日この頃です
が・・・母娘の会話を紹介します。
母「昨日ヒールを履いたので、足
が疲れたわ。」娘「昼に何を食
べた疲れたの？」母「・・・(ヒル
はヒルでも)」
次は父娘の会話です。2人でお
風呂に入っていました。
娘「私も先に出るけど、お父さ
ん1人になっても寂しくないよね
(確認するように)父「なんで？」
娘「だって、これはさよならじゃ
なくて、じゃあねで、また会える
もんね」とばたんと扉を閉めま
した。父「・・・(泣)」
そろそろ大きなアメリカザリガ
ニが見つかりそうなので、来年の
ために今のうちに捕まえておかな
くっちゃ。越冬させるぞ！(R)
▽今月号14ページに掲載の、はく
みんデー。今までは、なんとなく
でしか知りませんでした。毎月19
日は「子育て応援の日」なのです
ね。社会全体で子育てを応援する
県民運動だそうです。毎月19日は
子育て家庭の友達へ何か温かい言
葉を掛けてみようかな。(M)

ちょっと
編集者の
ひびく
ひびく